

ビジネス文書実務検定試験

第1級 速度部門サンプル問題②（制限時間 10 分）

新たな仕事の流れを確立し、在宅勤務を導入する企業が急増して	30
いる。その変革のターゲットとなったのが、日本特有のハンコ文化	60
と呼ばれるものだ。契約書や起案書などに押印するために、出社を	90
余儀なくされる事例が多いからだ。書面主義を原則としたビジネス	120
の慣習や行政手続きを見直し、デジタル化を推し進める機運が急速	150
に高まってきている。	161
ハンコは文書の責任の所在を明らかにし、信頼性を担保する手段	191
として昔から利用されてきた。海外で使用しているのは、東アジア	221
の国や地域に限られており、欧米を中心に直筆のサインが一班的で	251
ある。日本では、電子署名を押印や手書きの署名と同等に扱うとす	281
る法律が、2001年に試行された。しかし、契約を結ぶ際には、	311
書面とハンコがセットという慣習は根強く残っている。	337
一方で、IT企業を中心として、脱ハンコに向けた取り組みが広	367
がりを見せている。ある大企業においては、電子署名を導入するこ	397
とで、原則としてハンコを使う業務を廃止した。また、クラウド上	427
にある電子文書に、画面上で押印できる電子印鑑というサービスを	457
扱う企業もある。社外でもインターネットに接続できる環境があれ	487
ば、押印が可能のため、利用する企業は大幅に増えている。	515
これらの導入には、契約を締結する新たなシステムの構築が必要	545
だ。それには、取引先に業務の効率化やコスト削減、生産性の工場	575
などといったメリットを丁寧に説明し、同位を得ることが不可欠で	605
ある。国は押印の廃止に向けて、公的制度を見直し始めた。すでに	635
一部の自治体では、ハンコを使わずに行政手続きができるという。	665
脱ハンコが一つのきっかけとなって、これまでの仕事の流れや働き	695
方が大きく変わろうとしている。	710

ビジネス文書実務検定試験

第1級 速度部門サンプル問題② 模範解答

新たな仕事の流れを確立し、在宅勤務を導入する企業が急増している。その変革のターゲットとなったのが、日本特有のハンコ文化と呼ばれるものだ。契約書や起案書などに押印するために、出社を余儀なくされる事例が多いからだ。書面主義を原則としたビジネスの慣習や行政手続きを見直し、デジタル化を推し進める機運が急速に高まってきている。	30 60 90 120 150 161
ハンコは文書の責任の所在を明らかにし、信頼性を担保する手段として昔から利用されてきた。海外で使用しているのは、東アジアの国や地域に限られており、欧米を中心に直筆のサインが一般的である。日本では、電子署名を押印や手書きの署名と同等に扱うとする法律が、2001年に施行された。しかし、契約を結ぶ際には、書面とハンコがセットという慣習は根強く残っている。	191 221 251 281 311 337
一方で、IT企業を中心として、脱ハンコに向けた取り組みが広がりを見せている。ある大企業においては、電子署名を導入することで、原則としてハンコを使う業務を廃止した。また、クラウド上にある電子文書に、画面上で押印できる電子印鑑というサービスを扱う企業もある。社外でもインターネットに接続できる環境があれば、押印が可能のため、利用する企業は大幅に増えている。	367 397 427 457 487 515
これらの導入には、契約を締結する新たなシステムの構築が必要だ。それには、取引先に業務の効率化やコスト削減、生産性の向上などといったメリットを丁寧に説明し、同意を得ることが不可欠である。国は押印の廃止に向けて、公的制度を見直し始めた。すでに一部の自治体では、ハンコを使わずに行政手続きができるという。脱ハンコが一つのきっかけとなって、これまでの仕事の流れや働き方が大きく変わろうとしている。	545 575 605 635 665 695 710